

入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）市民説明会の概要（2月16日(土) 西武公民館）

1. 開催日時・会場

〈西武地区〉

日 時 平成31年2月16日（土） 午後6時00分から午後9時40分

場 所 西武公民館 2階 大会議室

2. 内容

①開会あいさつ（田中市長）

②公共施設マネジメント事業計画（原案）についての説明（公共施設マネジメント推進課）

③質疑応答

④閉会

3. 参加者数

参加者 210名

※ 質疑応答の概要は別紙のとおりです

「公共施設マネジメント事業計画（原案）」市民説明会 質疑応答一覧

No.	発言要旨	応答
1	<p>・子どもの教育環境の向上を図っていくという、市長の言葉は大変すばらしい。公共施設マネジメント事業計画の基本的な理念は、何ら問題ない。市公式ホームページで平成30年度予算編成の考え方等の中に、充実した生活都市入間市の実現をスローガンとしてあげている。その中で、安全で安心して暮らせるまちづくりの項目がある。今回の公共施設マネジメント事業計画よりも、まずは安全で安心して暮らせるまちづくりを進めていく方が先ではないのか。人口減少前提で説明されているが、人口を増加させることをまず考えないのか。人口増加策を取り組んでいくべきである。野田中学校と西武中学校を、仏子小学校と西武小学校を合併させ、小学校と中学校を地区に1つずつに配置する理由に、大きく欠けているのは子どもの安全・安心な通学路の確保である。西武小学校には705人の児童が通っている。元加治方面から通学している児童もベルクの裏から通学している児童もいる。おおまかに言うと、この3分の2は国道299号よりも飯能ゴルフよりに住んでいる児童が多いのではないのか。国道299号の野田の交差点から中橋まで約400mで通学路の道幅はご存じか。子どもたちがどういう思いをして通学しているのか分かっていない。ホンダ自動車前の通学路は、縁石の内側から住宅の壁まで130cm。犬の餌を売っている店前の通学路は、縁石の内側から住宅の壁まで83cm。約400人近く西武小学校に通っている子どもがこのような狭い道を歩いている。登下校の時間は決まっており、車道にはみ出している子どももいて危ない。加えて、中学生も通学する。多くの中学生が西武中学校に通うとなると、今西武小学校に通っている子どもたちの通学路を利用しなくてはならないため、小学生と中学生で溢れかえることになる。本当に通学路の安全のことを考えているのであれば、まず「子どもの安全・安心な通学路を確保します。だから皆さん野田中学校を廃止して、西武中学校に統合したいがいかがか。」と説明するのが筋ではないか。</p>	<p>(政策推進室) 入間市では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を掲げ、将来的にこのままでいくと2060年には9万人に割り込んでしまう人口を12万人に維持したいという目標を立て事業を展開している。主な内容は、合計特殊出生率をあげ若い子育て世代に選んでもらう取組（産前産後ケア、母子健康保険相談、ひとり親家庭の学習支援、青少年の居場所づくり等）を行っている。しかし、すぐに成果が出るというものではない。ただし、ここ数年では人口は減少しているが、人口の減り幅が少しずつ改善しており、合計特殊出生率も1.2と僅かであるが以前よりも良くなっている。人口減少対策も引き続き進めているが、併せて人口減少部分を補うために公共施設マネジメントに取り組んでいかなければならない。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 資料の中で、仏子駅周辺の人口は減らず、新光・野田地区の人口は減るという説明があったが、本当にそうなのか。新光・野田地区は、ここ1、2年で新たに115棟の家が建設されている。今後、野田中学校に通わなければいけない生徒は増えていく。 病院、ベルク、野田中学校、西武小学校が周辺にあるから皆引っ越してくるのではないか。野田中学校がなくなったらどうなるのか。総合的に考えれば、西武中学校を残すよりも野田中学校を残す案の方がいたって自然である。(それは問題がある。片方はなくせばいいという問題ではない。という声あり。)9地区に1校ずつにするという入間市の考えは、机上の空論であり実態を分かっていない。文化創造アトリエの位置に西武中学校と仏子小学校をもってくるという考え方はいかがか。西武地区は、9地区に1校ずつの考え方は成り立たない。地域の実情に沿って柔軟に考えて対応していただきたい。 	<p>(公マネ課) ご意見として承る。</p> <p>(公マネ課) ご意見として承る。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 学校には歴史があって成り立ちがある。例えば、西武小学校が大きくなりすぎて仏子小学校ができた。西武中学校が大きくなりすぎて、野田中学校ができた。東金子地区も同様である。今回の計画は、東金子小中学校は全て無傷である。それに対して、西武地区は4校のうち2校が第三者に売却される。この理由は教えていただきたい。 新久小学校は地区のセンターとして、校舎は残るのに、なぜ西武地区の仏子小学校と野田中学校は売却、第三者に売るといふ差がおかしい。具体的な理由が聞きたい。 今年の3月に小中学校の卒業式が行われる。卒業生が一番多い小学校はどこか。 	<p>(公マネ課) 計画(原案)では、東金子小学校と新久小学校は統合する予定である。学校は減少することになっている。</p> <p>(公マネ課) 新久小学校が施設として残るといふことはおっしゃるとおりである。仏子小学校及び野田中学校は、統合後に売却という計画(原案)になっている。売却ありきではなく、計画案としてお示ししている。それぞれ地域の施設、新久小学校、高倉小学校は、統合した上で施設を活用するという計画案になっているが、いくつかの公共施設を集約して残していくことを考えている。西武地区は、統合に際して、川の南北に公共施設が必要というご意見をいただいた。地域住民のご意見を踏まえて、西武小学校と西武中学校を残すという計画案となった。</p> <p>(公マネ課) 扇小学校ではないか。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・違う。西武小学校である。西武小学校の卒業生が進学するのはどこか。野田中学校である。なぜ野田中学校を売却するのか。 ・東金子地区と西武地区を比較して、東金子地区の30年後の人口推移は39%減、西武地区は25%減である。人口減少幅が少ないにも関わらず、野田中学校を売却するのが理解できない。統合するのであれば、武蔵中学校から分離した東金子中学校が先である。まして武蔵中学校は4、5年前に多額の費用をかけて建て直したのだから、そこに東金子中学校の生徒が通学すればいいではないか。11校の中学校の内、売却は野田中学校だけである。30周年も迎えていない一番新しい中学校を目の敵にして売却しようとしているのか分からない。 ・なぜ仏子小学校は売却、野田中学校も売却なのかを市長からも答えてもらえなかったことは残念である。東金子地区は市長の地元である。地元を手厚く、西武地区は冷遇、これでは市政の公平性は保たれないのではないか。狭山市では、前市長の地元から統廃合を行った。坂戸市においても、市長の地元である北坂戸から着手した。 ・なぜ入間市は小中一貫校をつくってはいけないのか。今年の4月から飯能市の吾野では2つの小学校と1つの中学校が一緒になり開校する。坂戸市では城山地区に、狭山市にも小中一貫校があり、川島町にもできる。15、16年前から入間市教育委員会では、この課題に取り組んでいる。小中一貫教育ということで、西澤教育長の時に文部科学省の研究委嘱の研究 	<p>(公マネ課) 公共施設マネジメントは、背景である人口減少、財政状況等から公共施設を量から質へ転換しようという考え方である。学校数は減るが、残す学校については整備し充実させていく。</p> <p>(市長) 入間市には多くの公共施設がある。古くなったら建て直すことができればいいが、できないから公共施設マネジメントに取り組んでいる。今後40年間で施設を建替えたなら約1,880億円となり、40年で割れば1年で約47.0億円という試算であった。この金額は財政状況を考慮すると非常に厳しい。原則、使わなくなった施設は売却して、その資源を公共施設マネジメントや他の市民サービス等へ充当していく。東金子地区の新久小学校は残るが、東金子保育所を移転する、公民館も老朽化したら移転するという計画であり、東金子保育所も公民館も使わなくなったら売却をする。野田中学校だけでなく、市全体の中で計画案を立てている。野田中学校がどうしても地域のために使わなくてはいけないという方向が出てくれば、選択肢のひとつになることも検討しなくてはいけない。いずれにしても、本日は大勢の皆様のご意見を伺いながら、西武地区を持続可能な地区にするかが課題だと思うので、最終的には皆様からの意見を斟酌して計画に反映していく。</p> <p>(市長) 入間市で一番予算がついているのは野田・仏子地区である。最初に廃止したのは、今年度いっぱいまで廃園となるあずま幼稚園である。地元を大切にするというわけではなく、あくまで公平に市の将来、子どもたちのために覚悟をもって取り組んでいく。公平でなかったら、またご指導いただきたい。</p> <p>(学校教育課) 入間市では、小中一貫教育を文科省の委託を受けながら進めている。教職員も研究を重ね、以前と比較して小学校と中学校の垣根がなくなってきている。子どもにとって何が一番大事かということ、子どもの権利が守られていくことだと当然考えている。その中で、教育を受ける権利が一番大事であり、安全・安心も守られるべきである。入間市</p>
---	---

	<p>発表をしている。入間市内の小中学校の先生は小中一貫教育の研究に熱心である。教員には、実践の場で力を発揮してもらいたい。例えば、仏子小学校と西武中学校で小中一貫校にすることで素晴らしい教育が実現されるのではないか。小中一貫校では教育環境の向上が見られないとあるが、子どもたちにとって最大の教育環境とは何なのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大の教育環境は何か。 ・子どもたちの環境に一番影響を与えるのは学校の先生かもしれない。それ以外には先輩・後輩である。小中一貫校は、身近な人に目標を持つことが小学校の段階からできる。見えない教育・無言の教育（目標である先輩に近づいていくために児童・生徒自身で努力する）をすることが、小中一貫校なら叶う。デメリットもあるかもしれないが、メリットを前面に出し小中一貫校の設置を検討してほしい。市町村の要請に応じて文科省も積極的に公立の小中一貫校を支援している。3年あれば設置要綱ができる。 	<p>では、施設分離型で小中一貫教育を進めている。喫緊の課題は、小規模校であり特に中学校である。西武中学校は、現在5クラスである。学級数が少なくなると全教科の教員が揃わない。揃わないから教えないということとはできない。何らかの手立てで教員を非常勤職として配置することはできるが、部活動・行事等は厳しい現状がある。平成31年度は、西武中学校では2人が別の中学校へ、昨年度は住所変更等もあるので確実な数字ではないが、5人程度が別の中学校へ移動した。その課題を解決していきたい。長期的に見た場合には、30年という長いスパンなので小中一貫校も視野に入れて検討していきたいと考える。</p> <p>(学校教育課) 教育を受ける権利である。</p> <p>(学校教育課) 先日、坂戸市の城山小学校にも視察に行って、いろいろと研究をしている。ご意見として承る。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・野田中学校と西武中学校に同心円があるが、西武中学校の同心円には東金子小学校が入っている。さきほどから生徒数が少ないと言っているが、東金子小学校の児童を進学させれば生徒数は増加するのではないか。野田中学校は明らかに範囲が広い。以前開催された説明会では、経費をかけないために野田中学校に統合するという案であった。改修工事をしてまで西武中学校にしなければならないのか。 	<p>(公マ課) 当初の地区懇談会及び意見交換会では、施設の老朽化状況、生徒数の状況から野田中学校を活用する方が優位性が高いのではないかと説明をした。これは、あくまでたたき台の案として説明をした。地区懇談会や住民説明会で市民の皆様の意見を聴いて、最終的に計画を決定していくと説明した。従って、ガス抜きということであれば、そのまま野田中学校を活用という案になったが、ご意見を頂いた上で最終的に当初とは違う判断となった。地域の方のご意見としては、両地区に小中一貫校の整備ができないのか、また西武中学校と西武小学校を残す案であれば住民は納得するのではないかと等いろいろな側面から意見を頂戴した。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合をするのであれば、新しい校舎をつくってからであって後から建替えても意味がない。新しい市役所本庁舎を約60億円もかけてつくるのであれば、学校を先に新設して統廃合を進めるべきではないか。 ・西武中学校の円に新光地区は入らないではないか。 	<p>(公マネ課) 東金子とのバランスというのは、平成29年度に住民説明会を開催した時にお示しした素案に、西武中学校を活用する場合、野田中学校を活用する場合のそれぞれのメリット・デメリットを提案した。その中で、西武中学校を活用するメリットとしては、東金子地区との配置バランスが良いと提案したもので、これが第1案ということではない。比較の検討材料として提案し、皆様のご意見を聴いた。どちらを現段階で市では優先して考えているのかということだったので、施設の老朽化度合い、生徒数の状況から野田中学校の優位性が高いのではないかという説明はした。決定事項ということで説明はしていない。ご意見を頂いて、庁内でも様々な検討を重ねて今の計画案が出来た。検討内容については、追加資料としてお示ししている。同心円については、中心から1.0km及び1.5kmの円である。それぞれ居住地区がどのあたりにあるのかをご覧いただけるのではないかとまとめた資料である。</p> <p>(公マネ課) 野田中学校の場合は、西武中学校に通うとしたら、新光地区は1.5kmには入ってこない。一方で、野田中学校の場合は、仏子地区や黒須との境の地区がエリア外になる。全体として、西武中学校の場合は、野田・新光地区について野田地区はある程度カバーできる。将来的に、さらに生徒数の減少が進んだ場合には、東金子地区との配置バランスも考慮して西武中学校の計画案をお示しした。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年に統廃合ということだが、野田中学校をなくすにしても西武中学校をなくすにしても、安全面の問題がクリアできていない。野田中学校がなくなるのであれば、西武地区の北側の方は通えない。西武中学校がなくされると、西武地区の南側の方は通えないという状況がどうやっても残る。古い西武中学校を建替えたとしても第2期の上半期なので、なぜ第1期の2022年の早い時期に統廃合なのか。小学校3年生が中学校に進学する時に統合となるが、計算すると4年生、5年生、6年生にしても統合が確定すれば、生徒は流れるので3年生だけの問題ではない。計画が決定してから安全面について議論するといっているが、順番が逆なのではないか。 	<p>(公マネ課) 教育委員会と協議した上で、西武中学校の生徒の減少が喫緊の課題という話があったので、それを解消するために早く統合しなければならないのではと目標を立てた。地域からいろいろな指摘を頂いており、検討課題として考えている。安全面に関しても並行して考えていかなければならない。</p>

<ul style="list-style-type: none"> 西武中学校が改修工事を行って、第2期で建替えということだが、建替えが決まっている建物を改修工事するというのは費用対効果の面からいかなものか。そもそも改修工事とは何か。 西武地区の形状として縦に長いので、地区懇談会や意見交換会で中学校を1つにするのは難しいという議論は出ていた。計画（原案）では確かに川の両側にとすることは反映されているが、1校はやはり無理なのではないか。新たな用地を買収して中学校を建てるか、統合するにしても場所が悪すぎる。西武中学校、野田中学校は地区の端にあるので、どちらの中学校も統合先としては向かない。中学校に必要な面積を教育委員会ほどの位と考えているのか。また、その根拠も教えてほしい。東京都より埼玉県は広いと思うし、車を置くスペースは設けなくてもいいのではないか。そんなに広いスペースが必要なのか。十分議論を尽くしたというのであれば、そのことを教えていただきたい。 パブリックコメントを受けて3月に計画を確定するということであるが、計画（原案）を熟読すると非常に誤字が目立つ。97ページご覧いただくと、第3期に西武小学校の体育館を建替えると記載している。1ページ戻っていただき、96ページには第3期に西武中学校の体育館を建替えると記載してある。どちらが正しいのか。計画（原案）の中身がこんなものでは分からない。中身が分からなかったら、パブリックコメントで意見を提出できない。誰が決裁し、またチェック機能は働いているのか。先月の固定資産税の問題もあったが、入間市のガバナンスの問題ではないのか。 パブリックコメントかけているのに中身に矛盾が生じていることは、ちょっとした記載ミスではなくて、どちらの体育館を建てるか、新しい校舎を建替えることになるのか、新しい校舎は別の場所に建つ等によって根本的な立地にも関わってくる。分かりづらいつかではなく、どちらか分からないので、パブリックコメントが出せない。こんなパブリックコメント 	<p>(公マネ課) 統合の時期を早くしなければならぬとすると、まず統合した時に人数が入れるように、自転車通学等も考えられるので駐輪場等の整備等も含めて改修の必要性がある。必要最小限の改修であることを計画（原案）には盛り込んだ。</p> <p>(公マネ課) 面積については、小学校は23,000 m²くらいを想定している。実際には生徒数も考慮すると思われるが、新設するとしたらその位の面積は必要である。中学校については、もう少し大きな面積が必要で、30,000 m²前後が平均の面積である。そうしたことを踏まえ、仏子小学校を中学校に転用できないか等考えた結果、面積としては不足するのではないかという結論に至った。文化創造アトリエ（アミーゴ）の活用との意見もあったが、面積要件等から学校を整備することは難しい。</p> <p>(公マネ課) 間違っている箇所については、申し訳ない。計画（原案）については、閲覧をしていただいてパブリックコメントを受けていくので、もし分かりづらいつころがあれば問い合わせしてほしい。(総務部) 原案の97ページ第3期に西武小学校の体育館を建替えると記載してある。前頁の96ページ、表になっているが実際は2行上の西武小学校に建替えが入るのが正しい。修正については、可能な限り速やかに対応する。</p> <p>(総務部) その他に間違いがあるのであれば、ひとつひとつ検証していきたい。後ほど、お気づきの点があればお聞かせいただきたい。寄せられた意見の中で、間違いであることは分かるので、その点も斟酌しながら、それぞれのパブリックコメントをいただきたい。</p>
--	---

	<p>は見たことがない。内容に誤りがあるのであれば、パブリックコメントの期間も遅らせるべきではないか。</p>	
5	<ul style="list-style-type: none"> 学校の統廃合の問題が一番の焦点となっており、子どもの安全が第一であるという意見が多い。子どもたちの安全、命を大人が守る義務がある。市からの回答だと、命を守るという意味が見えてこない。防災マップでは、仏子地区は土砂災害警戒区域になっている。西武地区は、災害のない地域とは思えない。計画（原案）を見るとあやふやな表現しか記載されていない。西武中学校、野田中学校の施設・立地面の比較で防災面だが、「西武中学校は周辺部に土砂災害警戒区域がある。」それだけの記載である。2枚目の防災面での良い点だが、ここが問題である。「仏子地区の周辺では土砂災害区域が存在するが、いずれも西武中学校からは100m以上離れた位置にあり、影響はないものと考えている。」どういう根拠でこんなことがいえるのか。日本は想定外の災害で様々な所で多くの人命を失い、家を失った人がたくさんいるではないか。その教訓は、西武地区にも当然あってもいいのではないか。以前、県土整備事務所が来て説明を聞いたが、決して西武地区も安心なところではない。安心ではないところに西武中学校と仏子小学校がある。せめて川を超えなくとも線路から北側くらいに移せば、市も命を守ってくれていると考えているように思える。防災面で安全な野田中学校に統合するべきではないか。これから将来ある子どもたちの命を大人は守る義務がある。もう少し、しっかりとした説明をしていただけないか。 西武中学校と野田中学校どっちが安全なのか。 	<p>(危機管理課) 市民の安全は大事であり、市民の皆様の意識を強く感じた。市内に66ヵ所土砂災害警戒区域がある。西武地区では主に土石流が多く、埼玉県が法に基づき調査を実施し危険区域を指定している。指定された場所に危険が生じた場合に、どこに避難をしたら良いのかを地元区長会さんと調整し公共施設を示したものが土砂災害ハザードマップである。全世帯に広報と一緒に配布した。現時点の構成図の中で災害は多くあるが、土砂災害に関して法的に危険な恐れがある部分において実施されている。そういう意味で、西武中学校周辺には区域がないことは確認している。住む場所によっていろいろな危険性があり、その他河川の氾濫もあるので、総合的に考えると入間川という大きな川を挟んで南北にそれぞれ緊急の避難場所を設けたほうがよいと防災担当として考えている。</p> <p>(危機管理課) 山の部分と高台の部分で土砂災害ということだけで考えた場合には、心配が少ないのは野田中学校である。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害警戒区域は、国が急傾斜地の崩壊、土石流や地滑りなど起こりやすい危険箇所について県が机の上で地図を見てそこに該当する地区を指定する。現地を調査して土砂災害警戒区域を指定して、市が公表をしている。入間市を管轄している飯能県土整備事務所に行って、西武中学校周辺は土砂災害の危険はないのかと聞いたところ、「土砂災害警戒区域には指定されていないが、今後状況によっては指定される可能性もあるし安全だということではでき 	<p>(公営課) 現状、県が指定している警戒区域に沿って、西武地区に限らず市全域の公共施設について配置等は考えている。見直しの可能性も含めて考えると、それにあてはまることもあるかと思うが、実際には様々な条件を見ながら配置、統合については検討した。今の計画（原案）では、安全だけを最優先にした案ではない。</p>

	<p>ない。」という回答であった。2016年の台風では不老川が氾濫し、藤田堀の護岸が壊れ、一部住民が避難した。ここは入間市の土砂災害警戒区域には指定されていない。傾斜地があれば土砂災害が起こる可能性はあるし、川があれば氾濫する恐れがあるし、海の近くであれば津波が起こるかもしれない。日本に住んでいれば、地震が起こる可能性がある。安全面からいうと、土砂災害の指定されていない区域の安全を保障するものではない。</p> <p>・安全以外に何が必要なのか。</p>	<p>(公マネ課) 追加資料にもお示したように、いくつかの要件に基づいて検討した。</p>
7	<p>・公共施設 30%削減が前提でこのような問題があって、仏子地区と野田地区の住民との争いになっている。どちらをなくすということではなく、公共施設 30%削減を撤回して、どういう方向で入間市をもっていくかが問題である。全ての公共施設の中で学校関係の費用は市の財政からすれば僅かである。地区センターだって第3セクターになったら運営の仕方が違ってくる。数値の誤魔化しとか、将来先送りにできないではなく、なぜ公共施設を 30%削減しなければならないのか、何の目的があって 30%なのか。学校なくすことや公共施設をなくすこと等で市民を争わせるような行動に出るのは良くない。</p>	<p>(政策推進室) 教育費は全体の中で 13.4%、約 413 億円の中の約 55 億円である。この数値は、実際にかかっている予算ベースの金額である。</p> <p>(公マネ課) 30%削減というのは市民の方に負担をかける目標である。背景でもご説明したとおり、人口減少の問題、それに伴う財政状況の問題がある。人口減少を止めれば解決するのではないかという見方もあるが、市だけではなく全国的な人口減少が既に見込まれている。人口減少と合わせて公共施設 30%削減を目標とした。施設を現状のまま残し、安全性を確保すれば多大な費用をかけなければならない。多くの費用をかけることになれば、他の事業に費用を充てられなくなる。そうした全体のバランスを考えた時に、公共施設を少しずつ減らすことで全体の行政サービスを皆様に平等になるように提供していくことができる。そのために、公共施設マネジメントに取り組んでいくことはぜひご理解をいただきたい。</p>
8	<p>・高倉地区在住である。西武地区の突然の計画変更は大変理不尽である。高倉地区でも小学校、公民館、保育所が 3 セット統廃合で廃止される。西武地区の皆さんの切実なお声がすごく分かり、納得されていない人もたくさんいる。高倉地区の説明会では住民が紛糾した結果、追加説明会が開催される。これだけ紛糾して納得していない住民が多いのに、このまま 3 月に計画を決定するのはあまりに理不尽ではないのか。ぜひ 2 月中に追加の説明会ではなく、意見交換会という形式で、西武地区住民の意見を集中的に聴いてもらうのはいかがか。素案</p>	<p>(市長) 本日も皆様のご意見をしっかりと聴かせていただいて、意見交換会をするのか否かを含めて検討させていただく。一番大事なことは命を守ること、子どもの教育環境を良くすることは最優先である。小中一貫校の考えもご意見として承る。どこに広い土地があるのか、優先的に税金を投入すべきところはどこか等、いろいろなことを総合的に考えて検討していかなければならない。公共施設 30%削減ありきではなく、結果的に 30%減少していかなければ、持続可能なまちへと繋がっていかない。子どもや高齢</p>

	<p>から原案に変わって、市議会で22名中4名を除いた18名の議員さんが賛成であった。皆さんのご意見を聴いて、第1案は、西武地区の地理的状況を勘案して川の南北に小中一貫校を設けられないのかを検討すべきである。第2案は、両方とも存続する。教育は、効率性や経済性で議論されるべきものではない。教育の質、安全を第一に優先して、そこに税金を投入すべきである。第3案は、地理的に無理のない場所に統合して新設する。市役所の方の血も涙もない計画案で物事を進めないでいただきたい。皆さんの気持ちを感じないのか。</p>	<p>者、生活困窮者などを支援するための費用である扶助費が年間で43%を占めており、年々増加していく。サービスや担い手の最適化をしっかりと考えていき、公共施設の最適化を図っていく。本日頂戴したご意見も総合的に判断させていただき、計画に反映できる部分については反映させていきたい。</p>
<p>9</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路を歩いたことはあるのか。 ・ガードレールがないことはご存知か。市長以外で通学路を歩いた方はいるのか。歩いていないのになぜ安全第一といえるのか。スライド41で、2023年度の西武中学校の生徒が151人、野田中学校は340人である。西武中学校に統合された場合、約7割の生徒が不便を強いられる。追加資料で様々な検討をされたというが、どう考えても野田中学校になるのが当然である。統廃合が全く反対とは言わないが、安全が第一である。地区懇談会等の意見でスクールバスを検討する必要があるという意見が出ているのに、なぜ検討しないで統廃合を決めようとしているのか。スクールバスにどのような種類があって何人乗れるか分かるのか。大型、中型、マイクロバス等いろいろな種類がある。幼稚園もいまどき送迎バスを走らせている。真剣に子どもの安全を考えるのであれば、まずスクールバスを運行して安全を確保し、統合するのが順序として当たり前ではないのか。どちらに統合するにしても安全に通学ができる状況を確認しなければならない。スクールバス導入も税金が使われる。どちらがスクールバスの台数が多くなるのか。マイクロバスは、補助席を利用すれば30数名乗車することができる。建物に関しても、野田中学校の建物寿命はまだ半分しか経っていない。無駄な統廃合を行い建替えるのであれば、スクールバスの予算を立てればいいのか。どうして廃止ありきで話が進んでいくのか。とても3月に決められる内容ではない。(意見のみ) 	<p>(市長) 入間市内の道路はほぼ歩いている。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントを書こうと思っているが、皆さんが書いたものは可視化されているのか。 ・原文のまま公表されるのか。まとめられたら自分の意見がきちんと反映されているのか分からなくなる。 ・いつまでにやるのか。 ・決まってからそんなものを見せられてもしょうがないのではないか。 ・私たちが出した意見が反映されているか分からないではないか。どういう判断をされたのか可視化していただけないか。書かだけ書かせて、様々な展開から西武中学校に決まりましたというストーリーが見え見えである。可視化しないで決定なんかしないでもらいたい。 ・早い段階でまとめたものを示してほしい。決定と同時に出示されても意味がない。何のための意見提出なのか。 ・まっとうにいけば野田中学校というのが、常識的で一般的なごくごく自然の考えである。決定に至るには、様々な理由の他に、野田中学校が存続となるにはどうしたらいいのか。逆に教えてください。 (意見のみ) ・学校の主役は子どもたちである。保護者たちの気持ちを大事にするのであれば、住民投票すればいいのではないか。多数決が全てとは言わないが、大きな割合を占めるのは事実である。(西武地区だけでやると不公平である、住民同士の争いになってしまう、ゼロからやり直せという意見あり。) どうしてそういう意見がでなかったかという、年末まで野田中学校への統合案を知らされてきたからである。いきなり反対のことを言われて我々も混乱している。1、2ヶ月で決めていいのか。せめて、3 	<p>(公マネ課) 現在、FAX、メール等で届いているので、一覧表にまとめてこれから対応策について協議したものを、併せてご覧いただくよう準備を進めている。</p> <p>(公マネ課) 要点をまとめていかないと皆さんがご覧になるときに大変な作業になると考える。</p> <p>(公マネ課) 計画の発表と同時に3月末に公表したいと考える。</p> <p>(公マネ課) パブリックコメントはそのような形での対応となる。</p> <p>(公マネ課) パブリックコメントというのは、さきほど説明した仕組みでやっている。</p> <p>(市長) 提出されたご意見を間違いのないようにまとめさせていただき、これまで通り回答していきたい。</p> <p>(総務部) 最終的な見直しが必要かどうかも含めて検討していく。見直し後の内容をご覧いただく必要がある。すべて計画原案のままいくということでパブリックコメントを実施していない。皆様のご意見をいただきながら、修正すべき点は修正をして検討を重ねながらまとめた。</p> <p>(公マネ課) ご意見として承る。</p>
--	--

	月決定の延期をお願いする。	
10	<p>・教育は国の財産である。日本が技術立国になってから年々学力は低下し、資源が乏しくなっている。教育は力、地域の力である。仏子地区と野田・新光地区が分裂することはよくない。学校はまちのシンボルであり、コミュニティの場である。これから引っ越しされる人も学校や商店、病院がある等の利便性を考えて移住する。子どもたちも大きくなって戻ってこようという地域の愛着が醸成される。そういった見地からすると、学校の立地条件は重要である。また、子どもの安全がこういった形で担保できるかが大事である。私たちが子どもの時は交通量が少なく安全であり、災害も起きにくく、地域の人を守ってくれ、地域が子どもを育ててくれるという大きな力があつた。現代はなかなか厳しい状況である。災害の話も出ていたが、いかに強靱な場所に学校があるかは大事である。西武中学校の西側は道路が狭く、災害の復旧車両が通れない。本日の説明会において、200人あまりの人が西武公民館に集うことは開館以来ではないか。若い人も危機感をもっていたきたい。3月に結論を出すのはお互いによくない。説明会は開催回数ではなく、参加された年齢層や女性等の意見をどれだけ聴いたかが重要である。我々もよい資産を子どもたちに残さないといけな。入間市から小中一貫校をぜひ発信していただきたい。先延ばしではなく、十分住民の意見を聴いていただきたい。</p>	(公マネ課) ご意見として承る。
11	<p>・野田中学校と仏子小学校の売却するメリットを教えてください。</p> <p>・公共的な活用方法なのか。売却するのであれば、マンションや小規模な病院等を考えるのがいいか。川の近くの学校を残して、比較的遠い野田中学校を廃止するのは不安である。</p>	<p>(公マネ課) 公共施設マネジメント全体の計画として、数を減らすという説明をした。一方で、質を高めるためにそこに投資をしていくという考え方である。跡地活用ということで売却することにより、売却利益によって残した施設の充実を図っていく。跡地利用については、住民のご意向も聴きながら地域の活性化に繋がるような土地活用を考えていきたい。現段階で具体的にお示しできるようなものはない。</p> <p>(公マネ課) 土地によって都市計画等の条件があるため、できることとできないことがある。できることの中で、地域のご意見を聴いて活性化に繋がるようなことを考えていきたい。学校を川の近くだから残すということではなく、統合案を検討した結果、選択した小学校も中学校も</p>

		川の近くになったということである。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年に野田中学校が売却されることを住民は納得していると思うのか。 ・皆さんが納得していない計画をこれからも進めるのか。野田中学校を中学生から取り上げるのか。学校は文化の発信地である。 ・検討して野田中学校を売却しないことが約束できるのか。 ・野田中学校は修理等も必要のない学校なのに、なぜ2022年で売却するのか。納得できない。 (意見のみ) 	<p>(公マネ課) 納得していただいているとは全く思っていない。計画(原案)として示しているものについては、2022年に統合した上で、跡地活用としては売却となっている。皆様が納得しているとは、一切思っていない。</p> <p>(公マネ課) 計画(原案)については、ご意見をいただいて最終的に決める計画である。ご意見については、十分検討することになる。</p> <p>(公マネ課) 現在、計画(原案)に対してご意見を頂いている状況である。2月28日までパブリックコメントでご意見を頂くことにしている。その後、3月末までに検討を十分に行う。それまでは決まっていない。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> ・仏子地区在住である。逆の立場であれば、やはり同じような意見が出てくる。安全面や環境面、設備等いくら説明会を開催してもこのような状況になる。今回の説明会は重く受け止めている。小学校、中学校については、駅の近くでなくても立地的には問題ない。むしろ、住宅密集地の方が教育のためには非常に良い。売却ありきは別にして、何をつくるのか、また人口減少を止めるような施策を考えて頂きたい。基本的な人間市の市政の中で、都市計画、土地利用、公共交通等は今回のプロジェクトに関わってくる問題だと認識している。これから十分討議していただいで、もう一度このような場を設けていただければよろしいのではないか。 (意見のみ) ・市役所と市民会館の話の中で、県立高校の土地というのは県が所有している土地なのか。今後、県立高校の定員割れや人口減少もあり得るので、人間市の中心に高校があるため公共施設マネジメント計画に盛り込むことも可能なのではないか。 	<p>(公マネ課) 県の所有である。ご意見として承る。</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> ・娘が西武小学校に通っており、3歳の息子がいる。親として一番心配なのは、安全面と安心できる通学路である。中橋を300人の子どもたちが通うとなると、自転車やスクールバス等を検討してもらいたい。踏 	<p>(公マネ課) アンケートについては、昨年7月に小学6年生と中学3年生に対して、公共施設マネジメントと市役所の整備について、今後のまちづくりということも含めてアンケートを実施した。仏子、</p>

	<p>切や錆びついた歩道橋をどうするのか等、非常に心配である。計画が決まってから考えるでは困るので、まず通学路を考えてもらいたい。自転車通学が何人いるのか、また仏子ニュータウンにどのくらいいるのかを確認したい。以前の説明会で子どもたちにアンケートをしてほしいという提案があったが、アンケートはされたのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西武中学校は部活がないから、西武中学校に通いたくないという子どももいるし、具体的なことをアンケートでは聞いてほしかった。子どもの意見はすごく大事で、30年後入間市に住んでもらわないと本当に困る。30年後今の子どもたちが子育て世代になるし、私たちだって生きているか分からない。(意見のみ) ・中橋と上橋を通るのに、半径だけで考えていいのか。 ・西武中学校まで毎朝登下校の時間に徒歩や自転車で通ってみてください。子どもが亡くなって、また性犯罪とかに巻き込まれてあなた方は責任がとれるのか。30年前とは交通事情が違う。(意見のみ) 	<p>野田地区の学校をどうするのかといった具体的な内容のアンケートは実施していない。アンケートの回答数については、小学生では全体の69%で885名、中学生では73%で987名から学校を通じてアンケートを回収した。</p> <p>(学校教育課)小学生が自転車で通学することは想定していない。西武小学校へ統合となった場合、平成31年度の新1年生から新5年生までを地図上に手作業で落とし込んだ。仏子小学校と西武小学校合わせて824人になる。学級数は4から5クラスになる。仏子小学校の児童が、西武中学校から1.5km以内、武蔵中学校で自転車通学の基準、あくまで地図上での直線距離で1.5kmというところで自転車通学を許可している。他市の自転車通学の基準は2kmである。西武小学校に通っている児童は西武中学校から1.5km以内には100%入っている。西武小学校から野田中学校から1.5km以内というところでは24%、1.6km以上となると76%となった。地図上でプロットして数えたものになるので、実際に細かい数字になると誤差が出る。</p> <p>(学校教育課)まずは半径の直線距離で考え、橋を渡ってどちらに行くかも検討はした。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート受けた覚えがない。西武小学校に通っていて、4月に野田中学校に進学する予定である。統合の影響をうける他の学年にもアンケートをとるべきである。 	<p>(公マ課)学校を通じて、それぞれのクラスにアンケートと説明資料を配布した。学校で対象全ての児童・生徒へ配布されたということまでは把握していない。西武小学校は123名中74名に提出いただいたことは事実である。もし、配布されていないことであれば、大変申し訳な</p>

		い。西武小学校のみ実施していないことではない。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・受験近くの時期の統合はすごく不安である。全く関係のない今の中学3年生にアンケートをとっても意味がない。関係ある学年にアンケートをとるべきである。 	(公マネ課) 市全体で共通のアンケートをとらせていただいたという点では、それぞれの学校事情、統合時期等も異なるし、細かいアンケートまではとれていないことは申し訳ない。今後も子どもや若い世代の方のご意見を聴く機会を設けていきたい。学校の統廃合について、今回ご意見を頂いて改めてどうしていくのかは検討する。3月に決定できるかどうかという問題はあるが、ご意見は何らかの形として聴ければと考える。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの期間があと少ししかない。3月中旬に計画を反映して、3月下旬に計画を決定するのは無理がある。西武中学校と野田中学校の統廃合を第1期ではなくて、学校の統廃合は第3期にずらし、各地区センターの統合を第1期にもってくるのはいかがか。その間に、通学路、安全面、防災面等を子どものためにもっと真剣に考えてほしい。3月下旬までに決定されたら子どもたちは悲惨である。地区住民が納得する案を10年間かけて考え提案してほしい。第1期には、西武中学校と野田中学校の統合はやらないと明確に回答いただきたい。 	(総務部) 計画(原案)を示させていただいて、会場にいる皆様以外の市民の皆様にもご意見をいただいている期間である。従って、その期間にこの計画(原案)を撤回するという事は申し上げられない。現在は皆様のご意見を伺っている期間である。その後、ご意見を踏まえて計画(原案)を修正していくかを慎重に検討していく。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ西武公民館の説明会が一番遅いのか。もめるのは分かっていたことではないのか。 	(公マネ課) 会場等の都合によりスケジュールは立てたが、配慮が行き届かなかった点については申し訳ない。確かに課題が多い地区であることは認識している。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・川の南北に避難所がほしい、西武中学校の人数がかなり少なり部活動に支障が出ている、やりたい部活動に入れない等子どもたちの声も聴いている。そのような理由から市は統合を急いでいる。校舎の建替えを行う時に、グラウンドが利用できないことや体育館が利用できない時期が出てくると考える。まずは、20年利用できる野田中学校に統合する。20年の間に線路や歩道橋やスクールバス等を十分に検討し対策をたてて、西武中学校を建替えたところで一斉に統合する案はいかがか。 ・20年使用できる学校の校舎を使わないことは、かなりの税金の無駄遣いになる。 (意見のみ) 	(市長) 本日、この説明会を開催して本当に良かった。皆様のご意見を十分に聴かせていただいた。ご意見をしっかりと反映できるよう、もう一回練り直していきたい。最初は、西武中学校の生徒数が少なく、部活動行うことに支障が生じていることが大きな課題であった。本日は仏子地区の住民のご意見が少なかったようだが、いただいたご意見をしっかりと検討していきたい。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・西武小学校では説明会が実施されたが、仏子小学校では説明会が実施されていないことは不公平ではないか。学校統合により環境が変わることはよくない。建物に費 	(公マネ課) ご意見として承る。

	<p>用をかけるのであれば、教員配置等に費用をかけたほうが安価なのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 万が一の時の避難所は必要である。西武公民館が地区センターとなり防災拠点となるが、避難所にはなれない。入間市は小学校も中学校も耐震工事を実施しており、体育館を含め避難所としないと絶対に足りない。まちづくりのために人の繋がりや地域の繋がりを大切にしてほしい。 	<p>(公マネ課) ご意見として承る。</p>
21	<ul style="list-style-type: none"> • 西武小学校の子どもたちの登下校を見守っている。子どもたちのアンケートをとり、意見を吸いあげ、人権、安全を守っていただきたい。もう少し長い目で考えてほしい。 	<p>(公マネ課) ご意見として承る。</p>